

実践事例15 中学校第2学年 【歴史的分野 近世の日本】 「産業の発達と幕府政治の働き」 一田沼の政治と寛政の改革一

単元について

- 本単元では、「幕府の政治改革」について百姓一揆に結び付く農村の変化や商業の発達などへの対応という観点から、代表的な事例として田沼意次と松平定信の政治改革を取り上げる。その際、幕府の財政悪化等の背景や改革の結果に着目させることで、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解させることをねらいとしている。幕府は、財政を立て直すため政治改革を行ったが、自然災害や貨幣経済の広がりによる農村の生活の変化により、幕府の財政難は続く。この財政難を乗り越えるために行われた田沼意次と松平定信の政治改革の内容を比較し考察していく学習を通して、生徒は、幕府の政治改革について説明できるようになると考える。
- 生徒は、社会科に興味をもって意欲的に学習する。また、ペアやグループなど小集団での活動を好む生徒が多い。社会科の学習を楽しんでいる一方で、資料を読み取ったり、自分の考えを書いたり、説明したりすることが苦手と感じている生徒が多い。
- 幕府の財政を立て直すための政治改革の内容について資料等を基に考え、幕府の政治についてまとめ、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解させる。代表的な事例として政策を比較しやすい田沼意次と松平定信の政治改革に焦点化しそれぞれの政策を考察させる。これにより、幕府の政治改革についてより理解を深めるための学習問題Ⅱ「田沼意次と松平定信、江戸幕府の財政立て直しに、より貢献したのはどちらか」を設定する。

単元の目標

- (1) 産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因や政治改革に対する関心を高め、意欲的に追究し、近世の日本の特色を捉えようとさせるとともに、近世の文化遺産を尊重しようとさせる。
- (2) 産業の発達における社会の変化など江戸幕府の財政悪化の原因や当時の社会情勢について資料等に基づいて考えさせ、財政悪化の原因を考察させるとともにそれらを適切に表現させる。また、幕府政治の動きを捉えさせ、政治改革について多面的・多角的に考察させ、公正に判断させ、自分の考えを適切に表現させる。
- (3) 産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因やそれに対する政治改革に関する様々な資料を収集させ、有用な情報を適切に読み取ったり、図表などにまとめたりさせる。
- (4) 産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因やそれに対する政治改革の内容を理解させるとともに、学問の発達や文化の特色について、社会の動きとの関連を理解させ、その知識を身に付けさせる。

単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
○産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因や政治改革に対する関心を高め、意欲的に追究し、近世の日本の特色を捉	○産業の発達における社会の変化など江戸幕府の財政悪化の原因や当時の社会情勢について資料等に基づいて考え、財政悪化の原因を考察する	○産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因やそれに対する政治改革に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に	○産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因やそれに対する政治改革の内容を理解し、その知識を身に付けている。

<p>えようとするとともに、近世の文化遺産を尊重しようとする。</p>	<p>とともにそれらを適切に表現している。 ○幕府政治の動きを捉え、政治改革について多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果、自分の考えを適切に表現している。</p>	<p>選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>○学問の発達や文化の特色について調べ、社会の動きとの関連を理解し、その知識を身に付けている。</p>
-------------------------------------	--	-----------------------------------	---

単元の指導計画(全8時間)

過程	主な学習活動	教師の指導・支援	時配
学習問題をつかむ	○農業や諸産業の発達について知り、貨幣経済が広がり、町人の力が増したことを理解する。	○農業や諸産業の発達に着目させ、貨幣経済が広がった理由を教科書の内容や資料を基に考えさせる。 ○農業や諸産業が発達する一方で幕府の財政は悪化していったことを伝え、学習問題Ⅰを設定する。	1
どうして江戸幕府の財政は悪化していったのだろう。 《学習問題Ⅰ》			
調べる	○都市の繁栄と徳川綱吉の政治について理解する。	○三都をはじめとして、都市が発達した理由を政治や経済の仕組みなどから考えさせる。 ○徳川綱吉の政治について資料などを利用して調べてまとめ、その中から財政難へとつながる要因を探らせる。	1
	○徳川吉宗の政治改革、社会の変化(貨幣経済の広がり、百姓一揆や打ちこわし)について理解する。	○徳川吉宗はどのようにして幕府の財政を立て直そうとしたか教科書などを基にまとめさせる。 ○貨幣経済の広がりによる農村の変化と百姓一揆や打ちこわしが盛んに行われるようになった原因を考えさせ、財政難へとつながる要因を探らせる。	1
	○田沼意次の政治と松平定信の政治について理解する。	○田沼意次と松平定信の政治を比較し、目的や内容などについて共通点と相違点を考えさせる。	1
考え	○既習内容を基に学習問題Ⅰに対しての考えをまとめ、田沼意次と松平定信の政治改革について、どちらが幕府財政を立て直しに、より貢献したのかを資料などを参考に判断し、理由も踏まえて最初の意味決定を行う。(意思決定1)	○幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢をまとめて理解させた上で、田沼意次と松平定信の政治改革のメリット・デメリットについて資料などを基にまとめさせる。 ○どちらが幕府財政を立て直しに、より貢献したのか考えさせ、最初の意味決定をさせる。	1 本時 (5/8)
論題 田沼意次と松平定信、江戸幕府の財政立て直しに、より貢献したのはどちらか。 《学習問題Ⅱ》			

まとめる	<p>○学習問題Ⅱに対して，他者と討論を行い，最終的な意思決定を行う。 (意思決定2)</p>	<p>○既習内容や資料，他者の意見などを基に，江戸幕府の将軍の立場から田沼意次と松平定信，どちらが幕府財政の立て直しに，より貢献したのか考えさせ，最終的な意思決定をさせる。</p>	1
	<p>○政治の動揺と社会の変化の中で発展した学問や文化の特色について理解する。</p>	<p>○学問の発達や文化の特色について調べ，社会の動きとの関連を考えさせる。</p>	1
	<p>○外国船の接近に対する幕府の対応と水野忠邦の政治について理解する。</p>	<p>○外国船の接近や大塩の乱，天保の改革について調べ，幕府政治にどのような変化が見られたのかを考えさせる。</p>	1

中学校2学年 「産業の発達と幕府政治の働き」 —田沼の政治と寛政の改革— (本時の様子)

本時の目標

幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢を基に、学習問題Ⅱ「田沼意次と松平定信、江戸幕府の財政立て直しに、より貢献したのはどちらか」について既習の知識や資料等を基に、小グループでの話し合いを通して、自分の意見を適切に表現することができる。



本時の展開の概要(5/8)

幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢をまとめ、田沼意次や松平定信が政治改革を行った目的を明らかにした。田沼と松平の行った政策を、民衆側と幕府側の2つの視点から考察させ、財政立て直しに、より貢献したのはどちらかと生徒に問い意思決定を迫った(意思決定1)。

本時に取り上げる社会的な問題【社会的な問題のパターン】

社会的な問題「江戸幕府の財政難が続いていること」【答えさせるための問い】

本時の様子

過程	学 習 活 動	教師の指導・支援		
導入	<p>○学習のめあてを確認する。</p>  <p>提示した狂歌</p> <p>田沼意次の政策が、白河(松平定信)の政策よりよかったということかな？</p>	<p>○田沼意次と松平定信の政治を風刺した狂歌を紹介し、意味を考えさせた。これにより2人の政治政策を比較することに対する関心を高め、めあてを提示した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>田沼意次の政治</p> <ul style="list-style-type: none"> ●株仲間の奨励 ●長崎貿易の活性化 ●印旛沼の開拓(新田開発) </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>松平定信の政治</p> <ul style="list-style-type: none"> ●帰農令 ●農村に倉を設置 ●昌平坂学問所 ●人足寄場の設置 ●棄捐令 ●儉約令 ●出版物の統制 </td> </tr> </table> <p>黒板に提示した田沼意次と松平定信の政治政策</p>	<p>田沼意次の政治</p> <ul style="list-style-type: none"> ●株仲間の奨励 ●長崎貿易の活性化 ●印旛沼の開拓(新田開発) 	<p>松平定信の政治</p> <ul style="list-style-type: none"> ●帰農令 ●農村に倉を設置 ●昌平坂学問所 ●人足寄場の設置 ●棄捐令 ●儉約令 ●出版物の統制
<p>田沼意次の政治</p> <ul style="list-style-type: none"> ●株仲間の奨励 ●長崎貿易の活性化 ●印旛沼の開拓(新田開発) 	<p>松平定信の政治</p> <ul style="list-style-type: none"> ●帰農令 ●農村に倉を設置 ●昌平坂学問所 ●人足寄場の設置 ●棄捐令 ●儉約令 ●出版物の統制 			
	<p>めあて 田沼意次と松平定信の政治政策について考えよう。</p>			
学習問題Ⅰのまとめ	<p>○幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢を既習内容を基に振り返り、学習問題Ⅰをまとめる。</p> <p>学習問題Ⅰ：どうして江戸幕府の財政は悪化したのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●①徳川綱吉が行った政治から ●②貨幣経済の広がりから ●③百姓一揆・打ちこわしが多く発生したことから <p>学習問題Ⅰをまとめる3つの観点</p>	<p>○幕府が財政難になった原因や当時の社会情勢について3つの観点から既習内容や資料を参考にまとめさせた。これにより、田沼、松平が政治政策を行った目的について明らかにした。</p>  <p>ワークシートにまとめる生徒の様子と記述内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①徳川綱吉が、寺社の建造や明暦の大火後の江戸再建にお金を使ったから。また、鉱山の産出量が減り、貨幣の質を落としたから。 ②農民の貧富の差が広がってしまったから。また、商品作物を作るようになり、商人が力をもつようになったから。 ③自然災害で作物が育たなかったから。 		
	<p>○財政を立て直すために行われた田沼意次と松平定信の政治政策を比較し、メリット・デメリットを考える。</p>	<p>○学級全体で田沼意次の政治を「積極的な経済政策」、松平定信の政治を「緊縮財政、農村復興策」とまとめたことで、2つの改革に関わる立場として、民衆(農民や商人など)と幕府の立場があることを確認した。</p> <p>○財政の立て直しに効果があったかどうかを考えさせるために、民衆側と幕府側の視点から2つの改</p>		

社会的な問題を把握する



小集団での話し合いの様子

革のよい点(メリット)と問題点(デメリット)について小集団で調べさせ、整理させた。

○小集団で整理した結果を板書に整理させることで、どちらの政治政策にも一長一短あることに気付かせた。



集団で調べたことを基に整理した板書

○田沼意次と松平定信の政治のメリットとデメリットを民衆と幕府の立場で考えてみよう!

		メリット * ()には理由を記入せよ	デメリット * ()には理由を記入せよ
民衆側	田沼意次	○商品の流通が速くなる (精神問・奨励)	○赤字が出る (精神問・奨励)
		○特権に利用商人が増える	○物価が高くなる ()
		○商人が増えるから税金が増える、商品に税金が課税される ()	○農民の生活が苦しくなる ()
	松平定信	○米がとれる (増産)	○商人が赤字になる (棄捐)
	○博打の禁止で賭博がなくなる ()	○ぜいたくで生活が苦しくなる (棄捐)	
	○凶作や旱干しで食料不足がなくなる ()	○農民の生活が苦しくなる ()	
幕府側	田沼意次	○税の収入が増える (精神問・奨励)	○赤字が出る (精神問・奨励)
		○貿易・利金が増える ()	○武士も商人も赤字になる ()
		○商品の流通が速くなる (精神問・奨励)	○ ()
	松平定信	○借金の返済が滞りなくなる ()	○博打の禁止で賭博がなくなる ()
	○米がとれる (増産)	○借金の返済が滞りなくなる ()	
	○人材が確保できる ()	○ ()	

板書と様式を同じにした生徒のワークシート(一部)

○学級全体でメリット・デメリットについて意見を交換し、政治改革について深く知り、学習問題Ⅱを設定する。

社会的な問題(答えさせるための問い)
「江戸幕府の財政難が続いていること」



自分だったら、どのようにして財政を立て直しますか?

○民衆側・幕府側、両方のメリット・デメリットを踏まえた上で、最終的にはどちらも財政難を立て直すことはできず、幕府滅亡への一途をたどってしまうことを説明した。これにより、社会的な問題を明確にし、自分だったらどのようにして財政を立て直すかを問い、問題の難しさに気付かせた。

○その後、それぞれの政治政策の目的に立ち戻らせ、どちらも少なからず効果はあったとの考えから、学習問題Ⅱへと導いた。

論題 田沼意次と松平定信、江戸幕府の財政立て直しに、より貢献したのはどちらか。

《学習問題Ⅱ》

○既習の知識や資料等を参考に意思決定を行い、自分の考えをワークシートに記述する。(意思決定1)

○本時の学習を終えた時点での意思決定を行わせ、生徒の判断の違いから討論型の学習への意欲付けを行った。 【評価】

私は(松平定信)だと思います。なぜなら2人の改革を話し合う中で、まず人足増強と人材を集めて、博打禁止、米増産は幕府にも民衆にも得がある。財政を立て直すにはまず民衆の生活に支障を及ぼさないこと、田沼は利金の増えで、松平は博打禁止や條約金に利、民衆も助け、財政を立て直したから。です。また、資料(田沼政治への批判)にもあるように、民衆達の批判もあつたから、です。

松平定信を支持した生徒のワークシート

実践を終えて

【成果】

- 班ごとに考え書いたものを黒板に貼らせたことにより、他の班の考えを視覚的に分かりやすくすることができました。また、班での話合いが活発になり、生徒の考えを引き出すことができました。
- 教師が、「どうして〇〇〇になったんだろう?」、「誰にとってよかったの?」というような発問をすることで、前時までの学習を振り返りながら思考を促すことができました。

【課題】

- 田沼意次、松平定信の政策が多く、考える視点も多くなり焦点を絞って考えづらくなりました。
- 「わいろはだめ」などの人物評価に生徒の意識が集中したので、情報を整理して財政を立て直すための政策に、生徒の思考を焦点化させる必要があります。